

# 移動タンク貯蔵所構造設備明細書の記入のしかた

(1) 車両及び形式	車両の型式、品番等を記入する。
(2) 製造事業所名	製造する事業所の名称を記入する。
(3) 危険物	危険物の類別、品名、化学名及び比重を記入する。 なお、当該欄に書ききれない場合は、別紙にし添付してください。 特殊な化学物質にあっては、危険物の試験結果報告書等を添付してください。
(4) タンク諸元	断面形状：だ円型、円筒型等 寸法：タンクの長さ、幅、高さ（内側寸法） 容量：タンクの最大容量（単位 リットル） タンク室の容量：各タンク室の容量（単位 リットル） 材質、板厚：タンクの材質記号及び板厚 板厚：胴板、鏡板、間仕切板の厚さ
(5) 防波板	防波板の材質、引張り強さ、板厚を記入する。 面積比にあっては、各タンク室の比率を記入する。
(6) 最大常用圧力	タンク最大常用圧力を記入する。
(7) 安全装置	作動圧力及び有効吹き出し面積を記入する。
(8) 側面枠	材質、引張り強さ、板厚並びに取付角度及び接地角度を記入する。
(9) 側面枠当て板	(10) 防護枠
(10) 防護枠	
(11) 底弁損傷防止方法	衝撃時の底弁損傷防止方法を記入する。 <例> 配管の屈曲 フレキシブルチューブ
(12) 緊結金具（Uボルト）	材質、引張り強さ、ボルトの直径(呼び径)及び使用数を記入する。
(13) 箱枠	材質、引張り強さを記入する。
(14) 消火設備	薬剤の種類、薬剤の量及び設置個数を記入する。

タンク本体及び側面枠等に特殊な金属（危険物の規制に関する政令第15条第1項第2号の3.2mm以上の鋼板と同等以上の機械的性質を有する材料）を使用する場合は、引張り試験の結果報告書等を添付してください。

（有・無）又は（左右後）の欄には、該当するものに を付ける。

様式第4のト

# 移動タンク貯蔵所構造設備明細書

車両及び形式	(1)							
製造事業所名	(2)							
危険物	類別	(3)	側面枠当て板	材質記号	(9)			
	品名			引張り強さ	N/mm <sup>2</sup>			
	化学名			板厚	mm			
タンク	断面形状	(4)	防護枠	材質記号	(10)			
	内側寸法	長さ		mm	引張り強さ	N/mm <sup>2</sup>		
		幅		mm	板厚	mm		
ク	高さ	mm	閉鎖装置	自動閉鎖装置	有・無			
	最大容量	L		手動閉鎖装置	有・無			
	タンク室の容量	L	吐出口の位置		左右後			
諸元	材質	材質記号	レバ - の位置		左右後			
		引張り強さ	底弁損傷防止方法		(11)			
	板厚	mm	接地導線		有(長さ m)・無			
防波板	胴板	mm	緊結金具（すみ金具）	有・無				
	鏡板	mm		Uボルト	材質記号	(12)		
	間仕切板	mm			引張り強さ	N/mm <sup>2</sup>		
箱枠	材質	材質記号	直径、本数		mm・本			
		引張り強さ	N/mm <sup>2</sup>		材質記号			
	板厚	mm	材質記号		(13)			
タンク最大常用圧力	面積比 防波板面積 タンク断面面積 × 100			%				
		面積比			%			
		箱枠材質	材質記号		N/mm <sup>2</sup>			
安全装置	作動圧力	(6)	kPa		消火器			
	有効吹き出し面積			cm <sup>2</sup>		薬剤の種類	(14)	
		個数			kg		薬剤の量	kg
側面枠	材質	材質記号	(8)		可燃性蒸気回収装置		有・無	
		引張り強さ	N/mm <sup>2</sup>		個		個	
	板厚	mm		個		個		
	取付角度			備考				
接地角度								

備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。